

(2) 基本理念の実現に向けた基本目標の設定

≪基本目標1≫地域福祉の担い手の育成・住民参画の促進

地域福祉の主体は住民です。行政による福祉サービスのみでは、地域における多様な生活課題には十分に対応できず、これからの福祉においては、住民や地域団体の積極的な関与が重要です。

市民の地域福祉に対する意識の向上を図るとともに、地域を支える主体としての育成を図ります。

■指標の設定（基本目標1）■

指標名	現状値	目標値	担当部諸等
① ボランティア登録者数	369人 (令和元年度)	400人 (令和7年度)	社会福祉協議会
② ふれあいサロン事業 実施箇所数	17か所 (令和元年度)	22か所 (令和7年度)	高齢者福祉課 社会福祉協議会

≪基本目標2≫住み慣れた地域で必要なサービスを受けられる体制づくり

生活様式の変化により、これまでの制度では十分に対応できないような生活課題も生じるようになりました。また、その生活課題も複雑化しており、個別の対応が必要なケースも生じるようになっていきます。

既存の福祉サービスを持続的に提供できるよう、適切なサービスの提供に努めるとともに、複雑化する生活課題に対しても対応できるよう、各種福祉機関等との連携を図っていきます。

■指標の設定（基本目標2）■

指標名	現状値	目標値	担当部署等
① 子育て環境や支援の満足度における“満足”の割合	43.2% (令和元年度)	80.0%以上 (令和6年度)	こども未来課
② 通いの場等への健康教育 実施数	20か所 (令和2年度)	30か所 (令和7年度)	保健医療課
③ 障がいサービス等利用計画の 作成率	92.2% (令和元年度)	97.7% (令和7年度)	福祉課

《基本目標3》安心して住み続けられる快適なまちづくり

あらゆる市民が暮らしやすい富良野市であるためには、ハード・ソフト両面からの生活環境の整備が不可欠です。心理的・物理的なバリアフリーが実現されることはもちろん、災害等の非常時においても、必要な支援が得られるような環境づくりが必要です。

他分野の計画・施策等とも連携しながら、より暮らしやすいまちづくりを進めていきます。

■指標の設定（基本目標3）■

指標名	現状値	目標値	担当部署等
① 成年後見制度の利用者数	57人 (令和元年度)	60人 (令和7年度)	社会福祉協議会
② 避難行動要支援名簿における関係機関への個人情報提供同意者の数	179人 (令和元年度)	600人 (令和7年度)	総務課
③ 安全・安心メールの登録	1,758人 (令和元年度)	2,500人 (令和7年度)	総務課

《基本目標4》地域福祉を支える市の体制強化

住民が主体となる地域福祉においては、行政が組織横断的に各主体間の連携を図っていくことが今まで以上に重要となります。

既存の福祉制度に基づくサービスの適正な提供に努めつつ、住民のより積極的な福祉への参加を目指し、必要な情報の提供や各種団体とのネットワーク強化、庁内における連携の強化を図っていきます。

■指標の設定（基本目標4）■

指標名	現状値	目標値	担当部署等
① Webサイトによる情報提供	7,321件 (令和元年度)	8,000件 (令和7年度)	福祉課
② 生活困窮者自立支援センターによる相談件数	43件 (令和元年度)	50件 (令和7年度)	社会福祉協議会